

新搬送1は、令和7年3月19日に納車され、3月28日夕方から運用開始されています。

この車両は、長さ741cm、幅207cm、高さ298cm、総重量6,730kg（最大積載量2,150kg）、乗車定員6人（ワイドダブルキャブ）であり、準中型免許にて運転可能です。

車両後部には、最大昇降能力350kgのテールゲートリフターを装備し、大容量ポータブルバッテリー（3,600Wh）を活用し、可搬式クーラーにて荷室内部を冷やし、災害が長期化した場合は活動隊員が一時的な休憩をとることも可能な仕様となっています。

また、荷室内部には上下可動が自在なエアラインレールが配置されているため、内部をダブルデッキ仕様とし、救命ボートを膨張状態で格納することも可能です。

本車両は、緊急消防援助隊登録車両であり、県応援等実施計画においては土砂・風水害の際は、後方支援小隊の車両として出動する予定となっています。

#### 1. 車両の右側前方から撮影



#### 2. 車両の右側後方から撮影



3. 車両前部



4. 車両後部



5. 車両の左側側面のスライドドア及び後部ドアを開放して撮影



(以下次葉)

6. 荷室内の状況（ダブルデッキ仕様可）



7. スポットクーラー設置状況



8. テールゲートリフター稼働状況



(以下余白)